

題材名 第5学年
「家族といっしょにホットタイム」
(3時間扱い)

内容のまとめり
「A 家族・家庭生活」
(3) 家族や地域の人々との関わり
ア(ア) イ
【見方・考え方】 協力

1 題材の目標

- (1) 家族との触れ合いや団らんの大切さを理解できるようにする。
- (2) 家族との触れ合いや団らんについて問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付ける。
- (3) 家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との触れ合いや団らんについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとする。

2 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。	家族とのよりよい関わりについて問題を見いだして課題を設定し、様々な解決方法を考え、実践を評価・改善し、考えたことを表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	家族の一員として、生活をよりよくしようと、家族との関わりについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、生活を工夫し、実践しようとしている。

3 指導計画 (3時間)

- (1) 家族との触れ合いや団らんについて考えよう …………… 1時間
- (2) 家族と過ごす時間や方法について考えよう …………… 1時間
- (3) 家族との触れ合いや団らんにチャレンジしよう …………… 1時間

4 指導と評価の計画（3時間扱い）

時	○ねらい・学習活動	評価規準 ■評価方法		
		知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1	<p>○家族との触れ合いや団らんについて問題を見だし、課題を設定することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 家族との触れ合いや団らんについて話し合う。いつ、どのように設定するか ・ その時の気持ち、家族の様子を考える 	<p>①家族との触れ合いや団らんの大切さについて理解している。</p> <p>■行動観察 ■ワークシートの確認</p>		<p>①家族の触れ合いや団らんについて問題を見だし、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。</p> <p>■行動観察 ■ワークシートの確認</p>
2	<p>○団らんの時間や方法について工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分と家族との生活時間を比較し、家族との触れ合いや団らんの時間について、問題点を話し合う。 ・ 自分の生活時間の使い方を見直し、家族との生活時間について話し合う ・ 生活時間の有効な使い方をまとめる 		<p>①家族との触れ合いや団らんなどの時間や工夫について問題を見だし、課題を設定し様々な解決方法を考えている。</p> <p>■行動観察 ■ワークシートの確認</p>	
3	<p>○家族との触れ合いや団らんについて実践計画を工夫することができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自分の生活時間をもとに、触れ合いや団らんの実践計画を立てる。 ・ グループで実践計画を発表し合い、アドバイスをし合う。 ・ 仕事の実践計画を見直す。 		<p>②団らんの実践に向けて計画を工夫して立て、考えたことを表現している。</p> <p>■行動観察 ■ワークシートの分析</p>	<p>②触れ合いや団らんについて課題の解決に向けた活動を振り返って、改善しようとしている。</p> <p>■行動観察 ■ワークシートの分析</p>

5 授業の展開例 【1/3時間目】

本時目標 家族との触れ合いや団らんについて問題を見だし、課題を設定することができる。

時	学習活動	○指導の手立て 評価規準 ■評価方法
5	1 本時のめあてを確認する。 家族との触れ合いや団らんについて考えよう	○家族と仕事などを一緒にすることも触れ合いであるとし、団らんは同じ場所で和やかな時を過ごすことととらえる。
10	2 家族との触れ合いや団らんについて話し合う。 ・「ふれあい、団らん」というのはどんなこと？ ・モデル家族の団らんの様子などの絵を見せ、家族の触れ合いや団らんについて話し合う。	○家族と過ごす時間が触れ合いであり、団らんは家族が集まって和やかな時間を過ごすことである。家族とのつながりを深めるために重要な行為であることを理解させるようにする。
20	3 具体的な触れ合いや団らんについて話し合う。 ・直接触れ合うことだけでなく、手紙などの手立てなど、工夫する。 ・自分もできる仕事に取り組み、家族を助けたい。時間の長さではない。	○情報については、プライバシーに配慮する。 ○手紙やカードなど、伝える手段を考えさせる
5	4 団らんのよさについて話し合う。 ・自分の思いが伝わらない、分かってもらえない。 自分の思いを表現する、相手を理解する。	【知識・技能】 ①家族の触れ合いや団らんの大切さについて理解している。 ■行動観察 ■ワークシートの確認
5	5 本時の振り返りをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ①家族との触れ合いや団らんについての問題を持ち、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ■行動観察 ■ワークシートの確認

授業の展開例 【2/3時間目】

本時目標 団らんの時間や方法について工夫し、団らんの計画を立てることができる。

時	学習活動	○指導の手立て 評価規準 ■評価方法
5	1 本時のめあてを確認する。 家族とのふれあいや団らんの計画を立てよう	○以前学習した生活時間の表を準備しておく。
10	2 生活時間表を見ながら、家庭での仕事の実践について、振り返る。 ・いつ、何をしているか、継続的に、計画的に	○生活時間を振り返り、家族との触れ合いや団らんの時間について、問題を持ち、課題解決に向けて工夫することができるようにする。
10	3 家族との触れ合いや団らんと、自分の生活時間表に赤で書き込み問題をもつ。	○触れ合いや団らんの方法について例示する。
10	4 触れ合いや団らんについての課題解決の方法を考え、取り組むための方法を工夫することができる。	【思考・判断・表現】 ①家庭の仕事について問題を見直し、課題を設定している。 ■行動観察・ワークシート
5	5 グループで、自分の団らんや触れ合いの計画について紹介し合い、アドバイスをし合う。	【主体的に学習に取り組む態度】 ①家族との触れ合いや団らんについての問題を持ち、課題の解決に向けて主体的に取り組もうとしている。 ■行動観察 ■ワークシートの確認
5	6 グループで話し合ったことを紹介する。	

授業の展開例【3/3時間目】

本時目標 自分の分担する家庭の仕事について、課題を解決する方法を考えることができる。

時	学習活動	○指導の手立て 評価規準 ■評価方法
5	1 本時のめあてを確認する。 家庭での触れ合いや団らんの計画を立て、取り組もう。	○触れ合いや団らんの実践例を紹介する準備をしておく。
10	2 自分の取り組む触れ合いや団らんに工夫したり、仕事の仕方を工夫したりして実践計画を立てる。 ・果物を食べやすく切る ・白玉団子を作る ・市販のお菓子をを用意するなど	○触れ合いや団らんの工夫について、体験的な活動をする中で、そのよさに気付くようにする。 ○家族との触れ合いは、いろいろな場面でもできることを確認する。
15	3 グループで実践計画を発表し合い、アドバイスをし合う。 ・友達のよいところや工夫を伝え合う。 ・家族との触れ合いや団らんの話題の工夫	【思考・判断・表現】 ②触れ合いや団らんの実践に向けて計画を工夫して立て、考えたことを表現している。 ■行動観察・ワークシート
10	4 グループで話し合ったことを発表し、よりよい実践に向けて、計画の見直しをする。	【主体的に学習に取り組む態度】 ②触れ合いや団らんについて課題の解決に向けた活動を振り返って、改善しようとしている。
5	5 本時の学習を振り返り、よりよい家庭生活について自分の考えをワークシートにまとめる。	■行動観察・ワークシート